

## 社是

### 現状満足したら終わりである

謙虚な姿勢を忘れず、驕らず、経年しても自身の啓蒙活動を怠らないようにします。

## 経営理念

### 幸せを供給・共有できる人の集団に

たった一度しかない自分の人生です。その人生。何のために生きているのか？明確な答えはなかなか出ないかもしれませんが、「幸せになるために」生きたいと私は思っています。そして、どうすれば幸せになれるのか？と考えます。おいしいものを食べたら「幸せ」を感じるかもしれません。家族との団欒、幸せだと思います。経営者としての私は、何よりも人から「感謝」されることで「幸せ」を感じたいと思っています。お客様にいい品を作り届け感謝され、永続的に企業として発展し社会から感謝されることで「幸せ」を感じたいです。そして、一番身近にいる社員に感謝されることで「幸せ」を感じることで、私が会社を経営する中で最も生きる目的だと思っています。形が多少違っても、社員全員が幸せを求め、自分だけではなくそれを人に供給し、共有し合える集団になることを我が社の目標とします。

## ビジョン

### 和弓の矢と言え、誰からも『小山矢』と言われる会社を目指します。

### 社員が仕事に誇りを持ち、心も経済的にも潤いのあるものにします。

会社が存続するには、利益を出さなければいけません。利益とはお客様にどれだけ役に立ったかです。

弊社がお客様に役に立てることは何か。弊社で唯一できることは、矢を製造することです。羽根を加工してシャフトを支度して矧ぎ付けをして、一人一人の力が合わさってお客様に矢を届けることができます。

機械を一部導入していますが、作る人により微妙な違いが出ます。均一なものを目指してはいますが、やはり自然なものを使用しますし、「矢作り」は「手作り」と言っていると思います。使ってもらえるお客様に感謝しながら、出来る限り丁寧な物を作る人と、お金のために物を作る人、やらされて物を作る人では、商品に大きな差が出ます。

情報化社会の今日では、顔の見える経営が可能になってきます。お客様の声を聞くこと、顔を見ること、自分たちの思いを伝えることをなどが可能になってきます。

弊社で働く人たちにとって、楽しく生き活きと働ける職場になれば、お客様に支持されるのは間違いありません。

矢を作り続けてきた会社として、業界の人たちからだけでなく、世界中の人から、和弓の矢と言え、誰からも『小山矢』と言われる会社を目指します。そしてその中で、社員が仕事に誇りを持ち、心も経済的にも潤いのあるものにします。

有限会社 小山矢 代表取締役 小山泰平